

Title	いのちの尊厳の確立実施結果：アンケート集計結果の概要（総合研究所 News：聖学院大学・長老会神学大学校日韓神学シンポジウム 2014 第 4 回日韓神学者学術会議）
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.24No.3, 2015.3 :65-68
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=5282
Rights	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

総合研究所 News

聖学院大学・長老会神学大学校
日韓神学シンポジウム 2014
第4回日韓神学者学術会議

いのちの尊厳の確立

実施結果—アンケート集計結果の概要

現代世界は利益や利便を追求するあまり、ときにバランスを欠いて、私たちの存在の根本である「いのち」の事柄を見失ってしまいます。両国にとって、2011年の東日本大震災・原発事故、また本年の旅客船沈没事故は、「いのちの尊厳の確立」が緊要の課題であることを改めて心に刻む出来事でした。韓国・長老会神学大学校と日本・聖学院大学が手を携えて、本主題へ真摯に向かい合いたいと願っております。

日時： 2014年11月7日（金） 15：20～18：30

場所： 聖学院大学ヴェリタス館1階教授会室

【プログラム】

全学礼拝 奨励

玄曜翰 [ヒョン・ヨハン]

(長老会神学大学校教授)

開会挨拶

姜尚中 (聖学院大学学長)

【セッションⅠ】

講演 「傷付いた魂へのスピリチュアルケア」

窪寺俊之 (聖学院大学大学院・教授)

コメント

尹哲昊 [ユン・チョルホ]

(長老会神学大学校教授)

質疑応答

【セッションⅡ】

講演 「生命（いのち）の危機的時代にいのちの尊厳を確立するための神学的対案の模索」

朴成奎 [パク・ソンギュ]

(長老会神学大学校・助教授)

コメント

姜尚中 (聖学院大学学長)

コメント

阿久戸光晴 (学校法人聖学院理事長・院長)

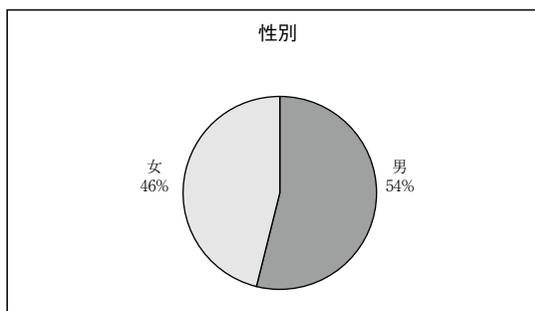
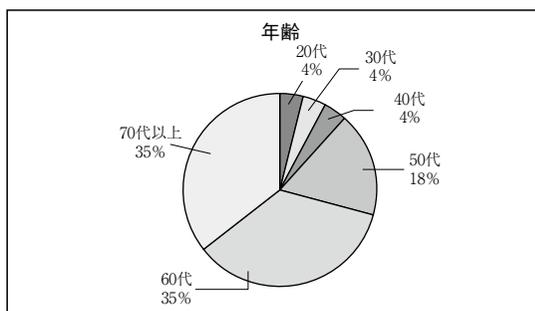
質疑応答

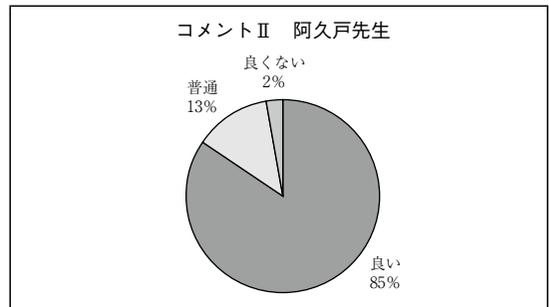
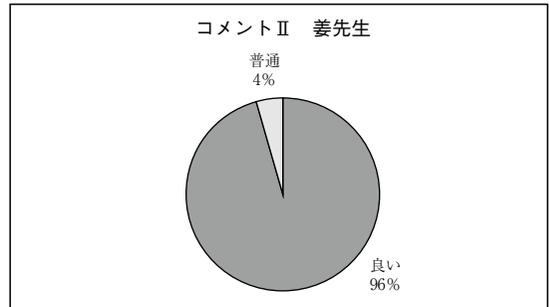
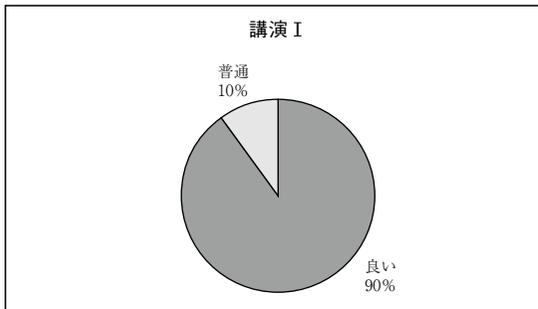
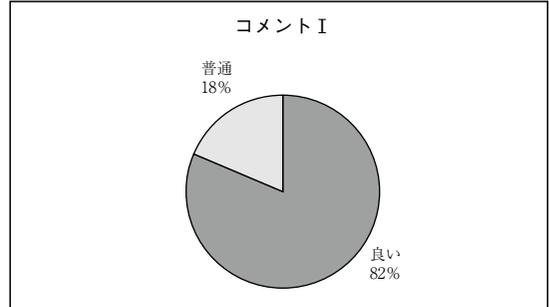
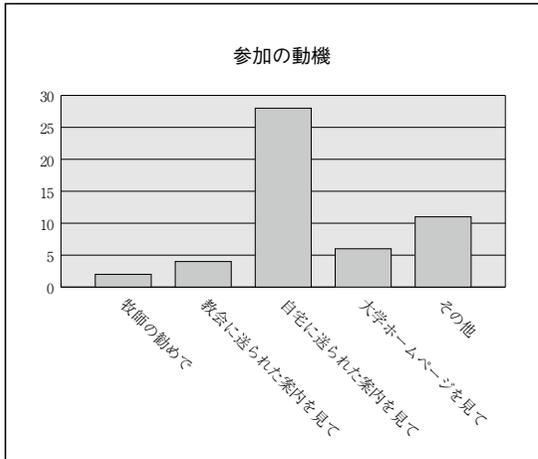
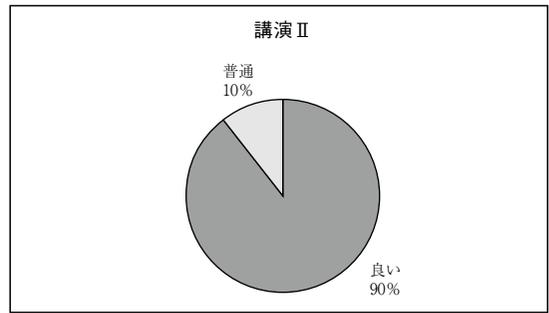
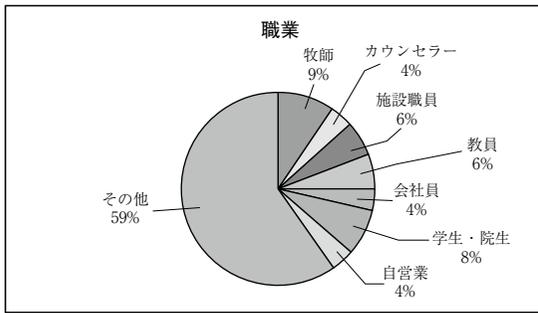
閉会挨拶

阿久戸光晴 (学校法人聖学院理事長・院長)

【結果の概要】

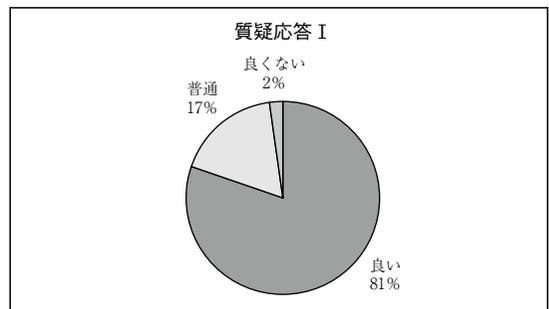
- ・参加者は100名。内、アンケート回答者は52名。
- ・講演Ⅰ、Ⅱともに「良い」という意見が90%と高い評価を得た。
- ・「自由意見」として、「大変有意義なシンポジウムだった」「質疑応答の時間がもう少し長ければ良いのに」「スピリチュアル・ケアの意義が理解できた」など。

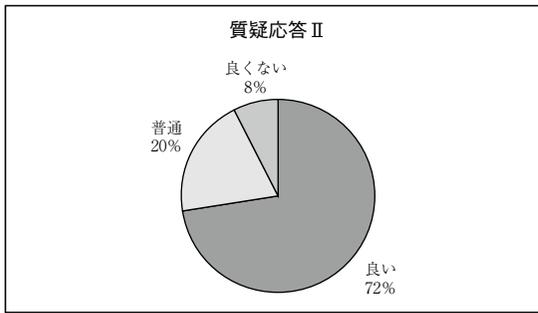




自由意見

- ・お話が全部理解できたわけではありませんが、お二人の誠実なお人柄と内容に感銘を受けました。悪い霊があるとのことのお話はこの頃の事件の多発に思い至り、良き人々が試されていると感じます。
- ・大変有意義なシンポジウムに参加でき、多くのことを学ぶことが出来ました。今後のこころの糧にしていきたいと思います。またの機会を楽しみにしております。ありがとうございました。
- ・通訳の方もすばらしかったです。シンポジウムのご準備大変だったと思います。本当にご苦労様でした。





- ・知識も何も（キリスト教的）理解できない者ですが、このような場所に導かれるのも聖霊の働きに寄るものと深く受け止めさせていただきました。
- ・スピリチュアル・ケアにおいて、教会も（組織）神学も外に出る（社会の中に出る）必要があると思われました。
- ・神さまの恵みはすべての人にふりそそがれる。わかまえることの大切さ、いのちの尊厳の大切に、等皆さまのお話が私のところに響きました。韓国語が話、理解できたらどんなに良かったかと思いました。今日はありがとうございました。
- ・もう1度資料を読み直して学びたいと思いますが、とても素晴らしい会であったと思います。それぞれの先生方の言葉にうなづくことがたくさんありました。感謝します。
- ・質疑応答の時間がもう少し長く充実していると良かったと思います。また、阿久戸先生のお話で、東日本大震災の後、最も早く義援金の支援を寄せてくださったのが、長老会神学大学校、他キリスト教関連の団体の方々でありましたこと、心よりお礼申し上げます。
- ・講演者、コメンテーター、全ての方々の内容が貴重で、今を生きるものにとって大きな問題であるだけに、大変ありがたい今日の催しでした。危機感は常に重苦しく、無力感を覚える日々ですが、大きなコスモロジックの視点を忘れず、いのちを支え、いのちを全うしたいと、少し希望がわいてきます。ありがとうございました。心から感謝します。
- ・私はチャプレンとして活動したいと考えている。自身はサバイバーとして生き、実家は3.11の被災地の福島。相馬で不便な避難所生活を送って

いる。自分にできることは何かを模索しながら生きている私にとって、窪寺先生のお話全てが素直に受け入れることが出来た。感謝。

- ・このようなシンポジウムを開催できることはとても有意義なことだと思います。ありがとうございました。
- ・内容が深すぎるので、更に内容を把握したいと思います。スピリチュアルケアを可能にするのは「祈りだ」と理解しました。（他の方法もあるのかもしれませんが）
- ・これからも回を重ねて行ってほしいです。日韓の交流、友好のためにも。
姜先生の「日々の日常の中に、おりてこないといけない」という言葉。
窪寺先生の「傾聴→ニーズ→寄り添う→からはじめて信仰を語る」というような意味のお話が、とても実践に裏付けられたお話と、心に響きました。
朴先生が最後に言われた「祈り」が一番の出来ること、に感動しました。
ありがとうございました。
- ・人間は皆、それぞれの神を持って生まれたと思います。ただ気づくかどうかという事ではないかと感じられます。究極の喜怒哀楽を体験すると得られるように思われます。人々それぞれが早く気付く事を願っております。私は今、気づいて（守られている事）幸せに過ごさせて頂いております。
- ・日韓シンポジウムはあまりにも理解するには難しいと思いました。姜尚中先生の話はもっと聞きたかったです。
- ・とても素晴らしいシンポジウムだと思いました。感動しました。私自身心を病んでいて、メンタルの医者と牧師先生の2人に面接して頂いておりますので、引きこもりがちな私の頭が活性化され、キリスト者の素晴らしさを覚え、感謝です。
- ・次回が韓国で行われるとするならば、何らかの形でその内容絵を知る機会、または手段が与えられることを切に願います。有料出版物の形でも結構です。（その際は、出版のご案内を頂ければ幸いです）
- ・ことばが違うことが大変残念です。でも、内容

的には大満足です。

- ・韓国には長老会神学大学校の他にも神学校があると思いますが、他の神学校とのシンポジウムも期待します。でも、この様な企画に感謝します。ありがとうございました。
- ・神様から与えられた命の大切さと尊厳さを正しく認識できるのが神様の霊により、私たち（キリスト者）を通して、この世に発信するのではないかと信じています。つまり、神の命は私たちの中にあり、私たちは神によって生かされることを人々へ生かすことです。本当に目が覚めまして感謝しております。また、こういうシンポジウムの参加を楽しみにしております。
- ・スピリチュアルケアについてよくわかったし、阿久戸先生の感想もよかったです（セッションⅠ）。姜先生のコメントも良かったですし、勉強になりました（セッションⅡ）。
- ・神学校と一般のミッションスクールとのこうした学術交流の意義は大変素晴らしく、現代社会に求められ、もっと発信していくべき動きだと思います。宣教における伝道と教育の共働、神学と社会科学の接点、上への超越と下への超越との狭間での交わりを知的に、霊的に深められたこの機会に感謝します。
- ・特にセッションに関して興味深く理解しました。身近な問題意識が再確認できてよかったです。今日のセッションの内容を青年会の集まりで分かちあい、深めたいと思います。
- ・信者でないものにとってもスピリチュアル・ケアの意義が理解できました。
- ・難しかったが、大変勉強になりました。（シンポジウムの前の礼拝にも出席したかったです）
- ・内容が濃く、時間がもっとほしかったです。
- ・次回また参加します。
- ・大変有意義でした。ありがとう。
- ・有益な話を聞かせて頂き、感謝申し上げます。
- ・素晴らしいシンポジウムでした。
- ・ありがとう。
- ・朴成奎先生の話は長すぎます。
- ・もう少しやさしくなりませんか？大変期待していたのですが、少し難しすぎました。神学からいえばこんなに難しい分析が必要なのでは

か。もう少しやさしく、わかりやすくあれば良かったかなと思います。

- ・以前、9か月ほど日本キリスト教団の教会に通っていた。カースト制度があった。第1身分、牧師家庭、キリストの親類位の気持ちでいる。第2身分、家族全員がキリスト教徒。第3身分、当人のみが信者。第4身分、キリスト教以外のすべての人。そこの牧師が言った、「AがBに対して醜いことをしたとする。AはBにあやまらなくても良い。神にあやまればBにあやまったことになる。」ずいぶんご都合主義の宗教だなと思ひ、行く気がしなくなってしまった。その上他の人の家を見たいという欲求が強く、土足で踏み込んでくる。仏教も拝金主義で心が無いのだが。わたしは距離を置きたい。